

第1学年＊組 外国語（英語）科 学習指導案

指導者 宇佐美 友理
R4 研修センター長期研修

1 「書くこと」における第1学年の目標

自分や身の回りの人物、身近な物事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて紹介する文章を書くことができる。

2 単元名 Project「私の紹介したい人」

3 単元の目標と評価規準

(1) 目 標

AETに「私の紹介したい人」を紹介するために、その人物について、事実や自分の考え、気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書くことができる。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・三人称単数現在形、人称代名詞の目的格、疑問詞 Why- Because の特徴やきまりを理解している。 ・三人称単数現在形、人称代名詞の目的格、疑問詞 Why- Because の特徴やきまりの理解を基に、簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。	AETに「私の紹介したい人」を紹介するために、その人物について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	AETに「私の紹介したい人」を紹介するために、その人物について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。

4 指導と評価の計画

(1) 指導上の留意点

本学級の生徒は、スモールトークやインタビュー活動に積極的に取り組んだり、パフォーマンステストに向けて熱心に練習したりするなど、英語を用いた活動に意欲的で、学習に前向きに取り組むことができる。知識や技能の定着は個人差が大きい。自己紹介のスピーチ発表会（＊月実施）では、多くの生徒が準備した原稿を読み上げるのではなく、ジェスチャーを使いながら堂々と発表することができた。その一方で、声が小さく話すスピードが速すぎて分かりにくい、原稿から目が離せないなど、スピーチをすることに対して難しさを示す生徒も見られた。意識調査（＊月実施）では、＊％の生徒が「書くこと」が一番難しいと回答した。書く内容について自分の考えをもったり、書きたい内容を整理したりすることが苦手、教科書の例文のような定型文を書くだけなど表現の幅が狭く、テーマに合わせて既習事項を活用することが不十分な生徒が多い。

本単元は、AETの先生に、自分の好きなゲームやアニメのキャラクター等を紹介する文を書いて伝えることをねらいとした複数単元から成るプロジェクト型のオリジナルの単元である。既習の言語材料、三人称単数現在形、疑問詞 Why、人称代名詞の目的格、助動詞 can 等を総合的に活用して、「私の紹介したい人」について紹介する文章を書くオリジナルの単元を設定したのは、次のような理由による。まず、来日して間もない日本のポップカルチャーが好きなAETに、より日本のことを知ってもらうために、「私の紹介したい人」を紹介するという生徒の興味・関心に即した学習課題を考えた。これは、何のためにまとまった英文を書くのかという目的意識と誰に対して書くのかという相手意識をもって、学習に取り組むようにするためである。次に、既習事項を活用してまとまりのある文章を書くために、既習の語句や表現を選択し、適切に用いる場面を考えた。そして、これまで積み上げてきた学習成果やまとまりのある文章を書いて自分の伝えたいことをAETの

先生に伝えられたという達成感や楽しさを実感し、より多くのことについて英語で伝えようとする意欲を高めることができると考え、本単元を設定した。

単元導入時に学習課題や評価基準、学習の進め方等について生徒と共有し、ゴールに向けての見通しをもたせる。成功体験を積むことができるように、スモールステップで「書く」活動を行う。また、文構造の理解を促すための活動を毎時間、帯活動（word order）として行い、継続することで文構造と言語材料の定着を図る。紹介文で活用できるような表現を繰り返し使い、英文を書くことに慣れるようにするための活動を取り入れることで、既習事項の中から適切な語句や表現を選択したり、工夫したりすることができる学習過程を考えた。「相手に何をどのように伝えるべきか」を考え、表現する活動を積み重ね、まとまりのある文章を書く力を向上できるようにしたい。このように選択の幅がある課題や学習形態、サイクリックな学習過程の工夫を通して、生徒が自分の伝えたい内容について既習事項を活用してまとまりのある文章を書く力を育成することを目指す。

（２）単元のまとまりを見通した計画 （○：評定に用いる評価 ●：学習改善につなげる評価）

次	時間	ねらい（■）、言語活動等（丸数字）、評価の方法（※）	知	思	態	備考
1	1～4	■Projectの目標とゴール、学習の進め方を理解する。 ■「私の紹介したい人」について、マッピングを作成し、自分の考えを広げたり整理したりする。 ①Projectの学習計画を確認する。 ②自己目標を設定する。 ③帯活動（word order） ④教科書の内容理解を通して、疑問詞 Why と Because の使い方を知る。 ⑤書き写したい本を選ぶ。英文を読み、英文を書き写す。 ⑥「私の紹介したい人」について、伝えるためのマッピングを作成する。 ※ワークシート・観察	●			・記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにしないよう十分留意する。
2	5～8	■既習事項を活用して、「書く」力をスキルアップさせるための活動を行う。 ■「私の紹介したい人」を紹介する文章の構想を考え、整理する。 ①帯活動（word order） ②英文を読み、英文を書き写す。 ③既習事項を活用して、「書く」力をスキルアップする活動に取り組む。 ④教科書のモデル文を読み、人物紹介文の文章構成を確認する。 ⑤作成したマッピングを用いて、「私の紹介したい人」を紹介する文章を考える。 ⑥紹介文に使えるような語句や表現を整理する。 ⑦自己目標の達成状況を振り返る。	○	●		
3	9～14	■「私の紹介したい人」について紹介するために、その人物についての事実や自分の考え、気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書く。 ①帯活動（word order） ②教科書のモデル文を読み、人物紹介文の文章構成を確認する。 ③お気に入りの人物について、「内容のまとまり」に留意して文章を書く。 ④ペアになり、お互いの紹介文を読み、推敲する。 ⑤清書をする。 ⑥紹介文の書かれたワークシートを AET に手渡し、紹介する。 ⑦AET からメッセージをもらう。間違いがある場合は修正して、再度渡す。 ⑧自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。 ※ワークシート・観察		○	○	
後日		ペーパーテスト	○	○		

注：活動の観察及びワークシートへの記述内容により評価する。